

# 総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。  
研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

## 1. 研究課題名

Gel immersion法による内視鏡的止血処理の研究

## 2. 研究の対象患者

旭中央病院を受診し消化管出血に対する内視鏡治療を実施した患者さんで、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない患者さん

- ・ 選択基準
  - 1) 消化管出血に対する内視鏡治療された患者さん
  - 2) 年齢不問
  - 3) 性別不問
- ・ 除外基準  
研究責任(分担)者が研究対象者として不相当と判断した患者さん

## 3. 研究の対象期間

2021年4月1日～2023年12月31日

## 4. 研究の概要

消化管出血に対する内視鏡治療において、視野確保は一つの課題である。近年、送気、送水以外の視野確保法について、gel immersion法が注目されている。gel immersion法は、水の代わりに透明なgelを注入するため、水や血液とすぐには混じり合わず、血液や凝血塊等を押しのけて透明な空間を作り出して視野確保でき、直視下で処置が可能になる。

また、腸準備不良時の大腸内視鏡や、腸管内圧を低圧に保って内視鏡を行いたい場合など、様々な場面に応用できるため今後、送気と送水に続く第3の視野確保方法として、gel immersion endoscopyが普及していく可能性がある。

今回は、当院でgel immersion法にて消化管出血に対する止血をおこなった症例について後方視的に研究を行いその有用性について検討する。

## 5. 研究実施予定期間

2023年9月20日～2024年3月31日

## 6. 研究に用いる試料・情報の種類

- 〔研究対象者背景〕：治療時年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症、最終観察日・観察項目、入退院日、止血法、止血日、診断名、内視鏡検査に至るまでの経緯
- 〔内視鏡検査〕：活動性出血の有無、潰瘍の有無、視野確保、出血点の同定、滲出性の出血の有無、活動性再出血の有無
- 〔CT検査〕：出血源の有無

## 7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果を研究対象者（又は代諾者）個々に開示することはありません。

## 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： 消化器内科 重原光那

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)